

製造業のビジネスチャンスが見える
モノづくり最新情報サイト
じゃぱんお宝にゅ〜す
<https://japan.otakaranews.com>

じゃぱんお宝にゅ〜す

モノづくり現場の未来を見つめる
製造業応援サイト
じゃぱんお宝WEB新聞
最新情報満載！好評配信中！



Uber Eats、三菱電機、Cartken 3社が業務提携

AI活用自律走行ロボットデリバリーサービスで業務提携 3月中に都内でロボットによる料理配達を開始する予定

Uber Eats米国に続き ロボットデリバリーを 日本でもサービス開始

Uber Eats Japan合同会社、三菱電機株式会社、Cartken Inc.は2月21日（水）、自律走行ロボットを使用したオンラインデリバリーサービス提供に向けて業務提携した。ロボットデリバリーサービスは本年3月中に東京都内の一部地域で開始する予定（※1）。

Uber Eatsがロボットデリバリーサービスを提供するのは、米国に続き世界2カ国目となる。

提携目的と 3社の役割

今回の業務提携はCartkenが設計し、AI技術を駆使したデリバリーロボットを、三菱電機による日本仕様への適合と導入・運用により、Uber Eatsのアプリ上で展開する。

具体的には、高度なAIモデルやアルゴリズムを活用した物体検知技術や自律走行性能、遠隔操作機能を備えたCartken製デリバリーロボットが、三菱電機による日本仕様への適合（※2）により、道路交通法に定める遠隔操作型小型車として最高時速5.4kmで歩道などを走行する。カメラを通じて取得さ

れる映像では、人物は個人を特定できないようマスク処理を行い、通行人のプライバシーに配慮した仕組みとなっている。

ロボット内部には断熱性のある約27リットルの積載スペースが備わっており、配達中も料理などを適切な温度に保つ（※3）。

Uber Eats Japan 中川晋太郎代表

「三菱電機、Cartkenと共にロボットデリバリーのサービス提供に向けた業務提携を発表でき、誠に嬉しく思います。

Uber Eatsではすでに自転車やバイク、軽貨物、徒歩による配達が開発されていますが、今後そこにロボットという全く新しい配達手段が加わります。

自律走行ロボットは一朝一夕に普及するものではありませんが、2024年問題を含めた人手不足が懸念される中で、配送手段の選択肢を増やす試みとして、中長期的にその重要性を増していくと考えています。

ロボットデリバリーを開始することで、Uber Eatsをご利用されるお客さまや加盟店舗の皆さまに、楽しいサプライズと高い信頼性を提供できるのを楽しみにしております」とコメントした。



三菱電機 開発本部 先進応用開発センター 田中昭二センター長

「この度、ロボットデリバリーサービス提供に向けた三社での業務提携を発表することができ、大変喜ばしく思います。

ロボットデリバリーは今後深刻化する物流クライシスへの有効な対策と考えられており、当社はこうした社会課題に対応する為、自律走行ロボットのパートナーであるCartkenと共に事業開発を進めて参りました。今回発表の取り組みが、日本におけるロボットデリバリーサービス普及の起爆剤になる事を期待しております。

今後は、当社が得意とするビルや工場のインフラと連携することで、自律走行ロボットが様々な屋内施設へも商品をお届け出来るよう開発を進めております。

三菱電機は、エンドユーザー様により一層、便利で先進的な体験をして頂けるよう努めて参ります」とコメントした。

Cartken アンジャリ・ジンダル・ ナイク 共同創業者&COO

「Uber Eats、三菱電機との業務提携を通じて、活気あふれる東京の街でCartkenの自動ロボットデリバリー技術が活用されることになり、大変嬉しく思います。

日本の消費者の皆さまにとってフードデリバリーがよりアクセスしやすく、サステナブルなものとなるよう、フードデリバリーの更なる発展に貢献して参ります」とコメントした。

■ロボットの概要

プロバイダー：Cartken

型式：Model C

機体サイズ：下記の通り

・長さ71cm×幅46cm×高さ60cm

積載容量：下記の通り

・最大27L、20kgまで（想定仕様）

最高速度：5.4km/h

■用語の補足

※1：具体的なサービス展開エリア、サービス開始時期は今後変更される可能性があります。

※2：一般社団法人ロボットデリバリー協会による安全基準の適合試験に合格したロボットを、管轄の都道府県へ届出することにより運行。

※3：サービス開始時に技術的仕様が一部変更される可能性がある。

（資料提供：三菱電機）

